

学校関係者評価報告書（令和2年度）

令和2年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び評価内容をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

- ・評価実施日 : 令和2年12月15日
- ・学校関係者評価委員 : 関係企業委員2名、卒業生1名（計3名）

評価概要	評定 4:適切に対応 3:ほぼ適切 2:やや適切 1:不適切	自己評価	学校関係者評価
(1) 教育方針・目標 教育方針、教育目標とも、しっかりと定められている。	4	教職員及び学生が毎朝の朝礼で唱和し、周知されている。	このまま継続することが望ましい。
(2) 学校運営 学校全体で共通の意思決定を共有することで競合他校に負けない経営を実践する。	3	共通の認識が及ばないこともあり、意思疎通の齟齬が見受けられる。	共通認識を共有し、学校運営には緊張感をもって望んでほしい。
(3) 教育活動 年2回カリキュラム編成委員会を設置し、ブライダル、ホテル業界の委員から、今の現場の状況に即した提言をいただき、カリキュラムに反映させる。	4	全体的には良好に稼働しているが、さらなるカリキュラムの改善余地も見られる。	委員の入れ替えを滞りなく行い、新しいものを取り入れるだけではなく、多様性のある内容にしていただきたい。
(4) 学習成果 全ての資格取得を目指す。	3	2年生に関しては、昨年度より合格者の減少が見られた。1年生に関しては、初めての科目が多く、積極的に吸収していると見受けられる。	資格を取得することが、最優先の課題だが、「学習したものを、いかに将来役に立てるか」を考慮しながら、教育の在り方を確立していただきたい。

<p><b>(5) 学生支援</b> 日本人及び留学生の就職率100%を目指す。保護者支援制度の実施。</p>	3	<p>毎年、日本人、留学生とも就職希望者の就職率は100%だが、今年はコロナの影響で、かなり厳しい状況が続く。</p>	<p>就職支援にはさらに力を入れて取り組んでほしい。保護者支援制度は、素晴らしい制度なので、継続を望みます。</p>
<p><b>(6) 教育環境</b> インターンシップ及び校外(学外)学習について、各業界の協力体制が整っている。防災に関しても、定期的に避難訓練を実施し、安全管理体制が整備されているか。</p>	3	<p>コロナ禍により、インターンシップ及び校外学習が計画通りに実施できていない。また、避難訓練も同様である。</p>	<p>コロナ禍により先生方が苦心されたと思うが、協力体制の継続と新たな企業、団体との協力体制の構築を期待します。</p>
<p><b>(7) 学生募集</b> 2021年度に向けて、入学定員に準じた適正な入学者を確保する。</p>	3	<p>高校訪問、オープンキャンパスを通して積極的に行う。SNSを有効に使い高校生にアピールを継続している。</p>	<p>目標の学生募集数には至っていない。さらなる工夫と、努力をしていただきたい。</p>
<p><b>(8) 財務</b> 健全な学校運営を行うための適正な予算管理と、適切な予算執行。</p>	3	<p>四半期ごとに予算執行状況を見直し、適正に執行できているかを確認する。予算をオーバーした場合、次の期において、縮小するように努めている。</p>	<p>予算管理は毎月行うことが肝要。一人一人が経営者の気持ちで、余計な無駄をなくしてもらいたい。</p>
<p><b>(9) 法令等の遵守</b> 交通事故及び犯罪及び犯罪巻き込まれゼロ、その他近隣の住民の方に対し、迷惑をかけるない。</p>	4	<p>年に2回、警察署の方の講話を行い、交通法規、犯罪防止の意識を高めている。</p>	<p>この調子で、事故・犯罪防止に取り組んでもらいたい。</p>
<p><b>(10) 社会貢献、地域貢献</b> ボランティア活動、大分駅南口周辺の清掃活動を定期的に行う。</p>	3	<p>コロナ蔓延の為、活動が制限され、思うようにボランティア活動や清掃活動ができなかった。</p>	<p>無理をする必要はないが、少人数でやればできないことはないと思う。</p>